

# 持田の町を歩いてみよう

(「ふるさと持田の彩」<sup>いろどり</sup>を携えて)



和田石灯籠（西持田町）

野津貴章

## はじめに

「ふるさと持田の彩」（探訪ガイドブック）は、1993年に「持田ふるさとづくり推進委員会」・持田公民館によって作成された持田地域内の史跡・伝説・芸能・文化財等を紹介されたガイドブックです。ただ、ガイドブックでは史跡等の場所は、簡単な絵図がついているだけで、訪ねるのには不十分な資料になっています。

そこで、ガイドブック片手に古墳など一部を除きましたが、史跡等の場所を各地域の方に伺い、訪ねてみました。開発に伴い消失したもの、立ち入る人もなくなり、訪ねるのが困難な場所や、人の記憶から消え去り不明の場所もありました。

「ふるさと持田の彩」を読まれる方に、少しでも参考になればと思います。地域でお話をいただき、また現地を案内をしていただいた方々に対し、改めて厚くお礼申し上げます。

令和6年1月

# 目 次

福 原	1 新宮神社跡	・ ・ 3	24 井ノ森堂	・ ・ 32
	亀福山長慶寺・澄水寺観音		25 加佐奈子神社	・ ・ 33
	2 堂・秋葉権現・天満宮跡・ 狗塚	・ ・ 4	26 松田左近妻女の墓	・ ・ 34
	3 五角の塔	・ ・ 6	27 秋葉社	・ ・ 35
	4 虫野神社	・ ・ 7	東 28 有縁堂	・ ・ 36
	5 往生院跡	・ ・ 8	持 29 聖観音堂	・ ・ 37
	6 澄水寺跡	・ ・ 10	田 30 納蔵の白滝	・ ・ 38
7 勘助庵跡	・ ・ 11	31 幻の宮跡	・ ・ 40	
坂 本	8 ハチクワンガ岩（蜂不食 岩）	・ ・ 12	32 月照山小倉寺跡	・ ・ 42
	9 明見窟・明見滝	・ ・ 13	宝龍山洞泉寺・日吉堂・	
	10 坊床寺跡	・ ・ 15	33 丸山地蔵菩薩・延命地 蔵・疣地蔵	・ ・ 43
	11 元・諏訪神社	・ ・ 17	34 大日如来	・ ・ 45
	12 別所延命地藏堂	・ ・ 18	35 丸山神社跡	・ ・ 46
	13 別所阿弥陀堂	・ ・ 19	西 36 持田神社	・ ・ 48
	14 比加夜神社・ヤマモモの木	・ ・ 21	持 37 毘沙門堂	・ ・ 49
	15 枡形山	・ ・ 22	田 38 賀茂神社跡・薬師堂	・ ・ 50
	16 浄昌山安養寺	・ ・ 23	39 和田石灯籠	・ ・ 52
	17 松田左近妻女の五輪塔遺牌	・ ・ 24	40 槇ヶ崎地藏	・ ・ 53
川 原	18 客師塚	・ ・ 25	41 持田の太郎兵衛住居跡	・ ・ 54
	19 咳地藏	・ ・ 26	史跡等位置図	・ ・ 55
	20 秋葉社	・ ・ 27		
	21 川原神社	・ ・ 29		
	22 阿弥陀堂	・ ・ 30		
	23 田圃の中の原野（塚）	・ ・ 31		

# 1 しんぐうじんじゃあと 新宮神社跡

福原町の現在の福原中集会所の敷地に新宮神社と若宮八幡宮がありましたが、新宮神社は明治44年10月に虫野神社に合祀され、八幡宮は虫野神社の裏山に移されています。

「福原には元虫野神社と新宮神社があり、この新宮神社の境内に若宮八幡宮もあった。明治44年10月虫野神社に合祀された。」（ふるさと持田の彩）



福原中集会所





## 2 きふくざんちょうけいじ ちょうすいじ かのんどう 亀福山長慶寺・澄水寺観音堂 あきばごんげん てんまんぐうあと いぬつか 秋葉権現・天満宮跡・狗塚

長慶寺は福原町の集落内にあり、境内に澄水山にあった澄水寺観音堂が移築されています。また境内には秋葉権現が祀られ、観音堂の後ろの山には、天満宮がありましたが、明治44年に虫野神社に合祀されています。境内の入口には鷹狩の際に死んだとされる犬を祀った狗塚があります。

〔長慶寺〕 本尊は十一面千手観音で、高さは31センチの小仏だが、平安時代の有名な仏師、定朝の作といわれている。この寺は曹洞宗静安寺（本庄）の末寺で慶長2年（1597）の3月、静安寺4世、少堂盛林和尚が開祖となっている。享保3年

（1718）10月21日に堂宇全焼し、この火事で法器古証等一切を灰燼となした。それから74年後の寛政4年（1792）に再建された。

〔秋葉権現〕 長慶寺の境内に祭祀、毎年1月18日、下組中組の講中にて供養祭祀が行われている。

〔澄水寺観音堂〕 澄水寺は山号を清水山（※1）といい、かつては標高507.3mの澄水山頂にあったが、明治6年（1873）、現在の長慶寺境内に遷された。

〔天満宮跡〕 天満宮は当初長慶寺裏の天神山に祭祀されていたが、明治44年（1911）、新宮神社と共に虫野神社に合祀され、毎年7月25日が祭礼日になっている。天文23年（1554）建立の棟札がある。

〔狗塚〕 明暦年中、松江藩主松平直政公鷹狩の際、飼い犬「弥十良」が狩猟のお供に従い、当時の福原に来たとき野獣と闘って死んだため、長慶寺境内の入口に埋葬され、狗塚というお墓を建て、その供養料として藩公より上田3反6畝歩を寄進せられた。」（ふるさと持田の彩）



長慶寺



澄水寺観音堂

## 著者紹介

野津 貴章 (のつ よしゆき)

1950年 島根県松江市上乃木四丁目に生まれる。

2001年からホームページ「松江の花図鑑」を開設し、市内の山野草を観察・撮影し紹介している。その後、市内の山や三角点、旧道、鉄塔巡視路を歩き、2021年からは神社やその旧社地を探している。

現在は、玉湯町湯町に在住。

著書 「松江の神社&その旧社地」 (2023年8月今井出版)

協力 「松江北山花図鑑」 (2018年11月持田公民館)





新・明見滝（坂本町）